

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2年前期	2	2	教職必修
担当教員			
松本 直己			
添付ファイル			

講義概要	教育課程とは、学校がどのような生徒を育成したいのか、その教育目標の実現のために教科・科目や特別活動などの教育内容を組織することです。 この講義では、高校に勤務した体験を生かして、主に教育課程編成の法的根拠となっている高等学校学習指導要領総則や静岡県教育振興基本計画の提言等を踏まえ、教育課程編成の原則や手順等に従いながら、履修者自身が自分の理想とする高校の教育課程案を編成するまでを指導します。		
授業計画	1	オリエンテーション 年間指導計画、授業展開、評価方法、課題レポート、小テスト等	
	2	教育課程とは何か、また、その今日的課題について 教育課程とは何か。プリントを用いて具体的なイメージを形成する。 また課題についても指摘する。	
	3	教育課程と法令、学習指導要領及び県教育委員会規則等の関係について 教育課程を規定する法令や、学習指導要領等について理解を深める。	
	4	学習指導要領の歴史的変遷について その1 学習指導要領の変遷について、講義形式で理解を深める。	
	5	学習指導要領の歴史的変遷について その2 学習指導要領の変遷について、講義形式で理解を深める。	
	6	高等学校学習指導要領総則（平成30年3月告示）について 「新学習指導要領」の内容・目的についてその特色を中心に確認し、具体的理解を深める。	
	7	高等学校学習指導要領解説「総則編」（第1章及び第2章）について 新学習指導要領「総則編」の内容・目的について具体的理解を深める。	
	8	高等学校学習指導要領解説「総則編」（第3章）について 新学習指導要領「総則編」の内容・目的について具体的理解を深める。	
	9	各教科・科目、総合的な学習の時間及び特別活動の授業時数等について 教科・科目等について、具体的な内容を確認しながら理解を深める。	
	10	小中学校の教育課程はどのように編成されているか 具体的な事例を取り上げ解説。	
	11	高等学校の教育課程はどのように編成されているか 高等学校の教育現場に即し、具体的な事例を取り上げ解説。	
	12	カリキュラムマネジメントとは 学校全体で教育活動の改善を進めていく「カリキュラムマネジメント」とは何か。 高校での実践例を中心に課題についても考察する。	
	13	魅力ある学校づくりについて 自分の理想とする教育課程案・時間割案を作成することで、 魅力ある学校について考察する。	
	14	発表 これが自分の理想とする教育課程案だ！ 個人発表と意見交換	
	15	まとめの講義	
	16	定期試験	
授業形態	講義を中心に、必要に応じて教育関連の新聞ニュース、雑誌記事、討論や調べ学習などを取り入れて展開します。 アクティブラーニング：①：8回、②：4回、③：2回、④：0回、⑤：0回、⑥：2回		
達成目標	・教育課程とは何か（意義）、また、法令や学習指導要領との関係について理解すること ・学習指導要領の歴史的変遷、高等学校学習指導要領のねらい・要点を理解すること ・教育課程の編成方法や実施上の配慮すべき事項について理解すること ・静岡県における人づくり諸施策を理解すること ・実際に自分の理想とする教育課程案を作成し、その編成のねらい・特色等を説明することができること		
評価方法・フィードバック	小テスト及び定期試験の成績、授業態度、発表、レポート等により総合的に評価します。原則として、レポート・小テスト等のフィードバックは次回以降の授業内で実施する。		
評価基準	秀＝90～100% 優＝80～89% 良＝70～79% 可＝60～69% 不可＝59%以下		
教科書・参考書	文部科学省『高等学校学習指導要領解説』総則編		

履修条件	教職志望者であること
履修上の注意	学校教育に関するニュースや社会の動きなどに関心を持つこと。
準備学習と課題の内容	学習内容をよく理解するために、事前に必ず教科書類を一読し、理解できない箇所や疑問に思う点などをチェック（確認）した上で授業に臨むこと。（毎回、予習復習それぞれ1.5時間程度）
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:30%, 思考・判断:20%, 関心・意欲:20%, 態度:10%, 技能・表現:20%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	